

<p>令和元年度実績 (最終年)</p>	<p>1. 経営発達支援事業（伴走型支援） <u>目標1 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化</u></p> <p>(1) 持続化補助金、経営革新、ものづくり補助金等への支援、商談会等販路開拓支援を通じて商工会活用事業所が増加（相談件数の増加）</p> <p>(2) 経営計画の作成支援による業績向上等（経常収益、雇用の増加等） 132事業所</p> <p>(3) 新たな需要を開拓できた小規模事業者（カイハウスビジネスフェア、料理教室タイアップレッスンの効果） 13事業所</p> <p>(4) マル経融資制度の推進 26件</p> <p>(5) 創業・事業承継等支援、販路開拓支援に関して金融機関との連携を強化 創業支援 2事業所、事業承継支援 6事業所</p> <p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み <u>目標2 観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りの推進・連携の促進</u></p> <p>(1) 輝振興連絡調整会議による観光と物産振興に関する意見交換（年2回開催）と連携の強化</p> <p>(2) 観光イベントのあり方検討と仕組み作りの推進（観光イベント実行委員会）</p> <p>(3) 八幡平市版DMOへの協力（情報提供協力）</p> <p>(4) 大更駅前商店街再編に係る提案（八幡平市の玄関口である大更駅前整備開発への提案をもって事業終了）</p> <p>(5) 料理界のプロが八幡平市の食材を活用した料理を提案（地域資源のPR、物産振興に寄与）</p> <p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み</p> <p>(1) 各種研修会参加による支援ノウハウの強化（人材育成） 経営指導員以外の職員も積極的に研修に参加することにより支援ノウハウを修得</p> <p>(2) 支援方法の体系化が徐々に進展（支援ノウハウの共有化）</p>
<p>(評価委員会) 令和元年度総括</p>	<p>1 経営分析、計画策定支援、策定後支援、新たな需要の開拓など、それぞれの計画内容に沿って精力的に実施されており、多くの項目で目標を達成している。</p> <p>2 経営革新計画の支援を2件実施、うち1件が認定。持続化補助金支援では申請件数20件で目標達成。採択率でも100%と会員の期待に十分に応えたのではないかと。</p> <p>3 観光と物産振興の面で八幡平市と連携した取り組みが積極的に行われているが、八幡平市版DMOや大更商店街未来を創る会など事業期間中に情勢が変化しているため目標数値を基準として評価が難しいところもあった。</p> <p>4 人事異動があっても支援が継続される状況を念頭に置き、支援ノウハウの共有・蓄積など支援力の向上に取り組んでいただきたい。</p> <p>商工会の取り組みが地域経済の活性化に貢献することが期待される場合でも、自治体の関与や支援が相応に及ばない現状があると指摘されているので、市と商工会の連携による経営発達支援計画策定が重要となる。併せて、八幡平市が中小・小規模事業者振興に関する条例を制定し、小規模事業者支援を明確に位置づけ、効果的な支援を行うことが重要と思われる。</p> <p>本計画では目標の明確化及び進捗状況の確認を可能とするために経営発達支援事業の目標を定量化しているが、第2期計画の検討にあたり支援の実績とその効果をどう捉えるかが課題となるので、重点的な取組み内容や指標の見直しに取り組まれることを期待する。</p>

<p>(評価委員会)</p> <p>1期(5年間)</p> <p>総括</p>	<p>5年間の伴走型事業を総括 (売上の向上、利益の向上、経営管理能力の向上、経営意欲の向上、事業承継の確保、創業への支援などを通じて会員事業所にどれだけの効果があったかを3つの視点で評価)</p> <p>視点① 会員数の推移(廃業による会員減少が増加する中で、伴走型支援を強化したことにより会員の任意脱退防止につなげた)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(年度末)</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>H31年度(R01)</th> <th>【5年間合計】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会員数(人)</td> <td>667</td> <td>651</td> <td>645</td> <td>631</td> <td>619</td> <td>△48人</td> </tr> <tr> <td>任意脱退(廃業)</td> <td>3(10)</td> <td>6(16)</td> <td>6(16)</td> <td>7(15)</td> <td>4(22)</td> <td>(自己都合 26 廃業 79)</td> </tr> <tr> <td>新規加入</td> <td>14</td> <td>6</td> <td>16</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>(創業支援)</td> <td>(1)</td> <td>(3)</td> <td>(5)</td> <td>(2)</td> <td>(2)</td> <td>(13)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【評価】経営革新、持続化補助金、創業、販路開拓など伴走型支援を強化した結果、会員の任意脱退に歯止めをかけていると思われる。</p> <p>視点② 地域の特性に合った取り組み、地域経済に対する貢献 【評価】商談会・展示会、パイヤーの招聘、IT・マスメディアを活用した情報発信により需要の拡大が着実に進められている。 また、グルメスタンプラリーを活かした地域内飲食店等の地元向け支援は地域の特性に合った展開となっている。</p> <p>視点③ 支援力向上と商工会としてのノウハウの蓄積、県内商工会のトップランナー的存在 【評価】全体的に地域の特性にあった取り組みが行われ、また、限られた予算と人員の中で効果的に事業が行われているなど、県内商工会の模範的な内容となっており、今後も多くの事業者が事業を継続できるように様々な支援を継続、発展させることを期待したい。</p>	(年度末)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度(R01)	【5年間合計】	会員数(人)	667	651	645	631	619	△48人	任意脱退(廃業)	3(10)	6(16)	6(16)	7(15)	4(22)	(自己都合 26 廃業 79)	新規加入	14	6	16	8	14	58	(創業支援)	(1)	(3)	(5)	(2)	(2)	(13)
(年度末)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度(R01)	【5年間合計】																														
会員数(人)	667	651	645	631	619	△48人																														
任意脱退(廃業)	3(10)	6(16)	6(16)	7(15)	4(22)	(自己都合 26 廃業 79)																														
新規加入	14	6	16	8	14	58																														
(創業支援)	(1)	(3)	(5)	(2)	(2)	(13)																														
<p>(課題)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の明確化及び進捗状況の確認のために経営発達支援事業の目標を定量化したものの、支援の実績とその効果の明確化が課題だった。 ・項目別にみると目標数値が明確でないものもあり、一部事業の達成度が把握できなかった。 ・地域経済の活性化に資する取り組みの中で、DMOや大更商店街未来を創る会など事業期間中に情勢が変化しているため、目標数値を基準とした評価が難しいところもあった。 																																			
<p>2期目の取り組み に関して</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・支援ノウハウの向上、職員の専門性向上を図る。 ・地域特性に合わせた取り組みの継続、発展させる。 ・創業、事業承継者に対する手厚い支援を行う。 ・地域経済動向調査、経営状況分析の実施、経営計画策定及びフォローアップまでの支援体制を強化する(人員不足を専門家活用で補う)。 ・2期目の計画実施に当たって、市の総合計画との連動を図るとともに、中小企業・小規模事業者振興条例の制定や中小企業・小規模事業者振興計画(商工業振興計画)の策定など、さらなる協力・連携の充実や展開を目指す。 																																			

令和元年度（5年目）経営発達支援計画の実施内容（内部評価シート）

実施者名	八幡平市商工会				
実施期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日（5ヵ年）				
目標	<p>八幡平市は、自然景観・温泉・スキー場などの質の高さを誇る全国有数の観光地であるとともに地域特性を活かした農畜産物も豊かな地域であるが、急速に進展する少子高齢化や人口減少の進展等により小規模事業者の廃業が目立っているため、</p> <p>八幡平市商工会は</p> <p>目標1. 小規模事業者支援機関としての役割を踏まえ、個別企業の経営力向上支援、需要開拓支援を強化します（伴走型支援の強化）</p> <p>目標2. 総合的経済団体としての役割を踏まえ、地域の活性化に資する取り組みとして観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りを推進します</p>				
評価規準	<p>評価基準は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A → 実施され効果（活用）が見られたもの、もしくは期待できるもの ・B → 実施されたが効果（活用）があまり見られない、もしくは不明のもの ・C → 実施されたが、回数・件数が目標を下回っているもの ・D → 実施されなかったもしくは、実施されたがほとんど達成することができなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ※数値目標に対する達成率が100%以上 ※数値目標を概ね達成（80%～99%） ※数値目標の半分程度（30%～79%） ※数値目標（30%未満） 			
事業内容	平成30年度目標	平成30年度実施内容（実績）	令和元年度実施内容（実績）	評価記入欄	
	<p>1. 経営発達支援事業</p> <p>目標1. 個別企業の経営力向上支援と需要開拓支援の強化</p> <p>指針① 小規模事業者の経営状況の分析に関すること（経営分析）</p> <p>(1) 会計データを基にした簡易経営診断の実施 これまでの記帳指導や金融指導から、売上構成比、ここ数年の特徴的な経営上の変化など自社の個別課題についてヒアリングし経営状況等を分析する。</p> <p>(2) アンケート調査やヒアリングによるSWOT分析の実施 巡回訪問によるヒアリングやセミナー開催を通して実施するアンケートにより小規模事業者の支援ニーズを的確に把握し、具体的な各種支援制度の活用を見据えた経営状況等の分析を行う。</p>	<p>（実施内容）</p> <p>巡回指導 1,538件 決算指導 232件 記帳指導 82件 労働保険事務委託 218件</p>	<p>（実施内容）</p> <p>巡回指導 1,770件 決算指導 224件 記帳指導 77件 労働保険事務委託 216件</p>	評価	理由

<p>(具体的目標)</p> <p>①簡易経営診断件数 年 60 件 (5 年後の累計 300 件) 内訳 決算データを基にした経営分析 30 件 ヒアリングやアンケートを基にした経営分析 30 件</p> <p>②事業計画策定に関する経営分析件数 年 43 件</p> <p>指針② 事業計画策定支援に関すること</p> <p>掘り起し</p> <p>(1)技術の向上及び新たな分野開拓等経営力向上に関するセミナーや個別相談会の開催により、経営革新等の事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行う。</p> <p>(2)小規模事業者が抱える経営課題を解決するための指導・助言体制を強化する。</p> <p>(3)経営革新等の計画策定を目指す小規模事業者の他、金融相談や持続化補助金、ものづくり補助金等の申請者に対して必要な事業計画の策定支援を行う。</p> <p>(4)小規模事業者の持続的発展を支援するため、新たに創設される「小規模事業者経営発達支援融資制度」を積極的に活用する。</p> <p>(5)商工会ホームページ上に各種支援制度の紹介と成功事例を紹介し、意欲ある小規模事業者の取り組みを支援する。</p> <p>創業等支援、事業承継支援</p> <p>(1)「創業セミナー」(全 2 回開講)を開催し、創業希望者の知識向上を図り、創業計画の策定支援を行うことにより、創業支援を行う。</p> <p>(2)事業承継に関する相談会を年 1 回開催し、事業承継計画策定等の支援を行う。</p> <p>フォローアップ</p> <p>(1)小規模事業者の持続的発展を促すために、事業計画に沿って事業が進捗しているか否かのフォローアップを手厚く実施するために、事業計画策定後に必要に応じて 3 カ月に 1 度巡回訪問し、進捗状況の確認と指導・助言を行う。</p>	<p>○目標に対する実績</p> <p>①簡易経営診断件数 ・経営データ把握数 450 事業所分(決算指導・労働保険受託重複あり) ・決算データを基にした経営分析 232 件 ・ヒアリングやアンケートによる経営分析 33 件</p> <p>②事業計画策定支援件数 34 件 内事業計画策定に関する経営分析件数 29 件</p> <p>(実施内容)</p> <p>・販路開拓に向けた事業計画作成講座(4月23日八幡平市商工会 7名) ・販路開拓セミナー(12月7日八幡平市 25人) ・カイゼン事例研修会(2月7日八幡平市 21名) ・事業承継講座(1月17日八幡平市商工会 8名)</p> <p>◎経営革新計画作成支援 2 事業所(未認定 2)</p> <p>◎ものづくり補助金支援 1 事業所</p> <p>◎持続化補助金支援 9 事業所(内採択 7)</p> <p>◎業績向上支援 42 事業所(経常利益向上、雇用の増加等)</p> <p>◎マル経制度の推進 13 件</p> <p>◎創業者支援 2 件</p> <p>◎IT 導入補助金申請支援 2 件</p> <p>◎先端設備導入計画申請支援 1 件</p>	<p>○目標に対する実績</p> <p>①簡易経営診断件数 ・経営データ把握数 440 事業所分(決算指導・労働保険受託重複あり) ・決算データを基にした経営分析 224 件 ・ヒアリングやアンケートによる経営分析 49 件</p> <p>②事業計画策定支援件数 53 件 内事業計画策定に関する経営分析件数 49 件</p> <p>(実施内容)</p> <p>①セミナー開催(専門家活用) (集団指導 4 回、個別指導 9 回 計 13 回)</p> <p>◎経営革新計画作成支援 2 事業所(内認定 1)</p> <p>◎ものづくり補助金支援 1 事業所</p> <p>◎持続化補助金支援 20 事業所(内採択 20)</p> <p>◎業績向上支援 132 事業所(経常利益向上、雇用の増加等)</p> <p>◎マル経制度の推進 26 件</p> <p>◎創業者支援 2 件</p> <p>◎IT 導入補助金申請支援 0 件</p> <p>◎先端設備導入計画申請支援 2 件</p>	<p>A</p> <p>A</p>	<p>経営上の課題を把握</p> <p>目標達成</p>
--	--	---	-------------------	------------------------------

<p>(2)特に創業・事業承継に関しては事業計画に沿って事業が進むよう身近な支援機関として、小規模事業者の視点に立って、伴走しながらきめ細かく丁寧に対応するとともに、市をはじめ地元金融機関など地域ぐるみで総力を挙げて支援するための体制を構築し、年2回支援会議を開催する。</p> <p>(3)創業及び事業承継後は、先輩経営者との意見交換会、経営指導員・専門家による個別フォローアップ、税務相談を重点的に行い、最低3年間は支援を行う。</p> <p>(4)事業計画策定後に、国、県、八幡平市、岩手県商工会連合会の行う支援策等の周知を強化するとともに、随時、フォローアップを実施する。</p> <p>(具体的目標)</p> <p>①掘り起しセミナー等開催回数(経営革新、創業・事業承継等) 年5回以上</p> <p>②経営革新計画認定事業所 年5件以上</p> <p>③持続化補助金支援事業所 年19件以上</p> <p>④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 年1件以上</p> <p>⑤創業(事業承継)支援者数 年5件(3件)以上</p> <p>⑥マル経あっせん事業所数 年14件以上</p> <p>⑦計画実施支援数(フォローアップ) 45事業所年 延べ78件以上</p>	<p>持続化補助金、経営革新計画作成支援、新商品開発支援、創業支援等に関するフォローアップ 34事業所 延べ172回</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①セミナー開催(専門家活用) (集団指導4回、個別指導6回 計10回)</p> <p>②経営革新計画策定支援件数 2件 // 内認定件数 0件</p> <p>③持続化補助金支援事業所 9件(内採択7件)</p> <p>④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 0件</p> <p>⑤創業(事業承継)支援者数 4件</p> <p>⑥マル経あっせん事業所数 13件</p> <p>⑦計画実施支援数(フォローアップ) 34事業所 延べ172回</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり補助金支援事業所 1件 IT導入補助金申請支援 2件 先端設備導入計画申請支援 1件 	<p>持続化補助金、経営革新計画作成支援、新商品開発支援、創業支援等に関するフォローアップ 44事業所 延べ220回</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①セミナー開催(専門家活用) (集団指導4回、個別指導9回 計13回)</p> <p>②経営革新計画策定支援件数 2件 // 内認定件数 1件</p> <p>③持続化補助金支援事業所 20件 (内採択20件)</p> <p>④小規模事業者経営発達支援融資制度の活用支援 0件</p> <p>⑤創業(事業承継)支援者数 2件</p> <p>⑥マル経あっせん事業所数 26件</p> <p>⑦計画実施支援数(フォローアップ) 44事業所 延べ220回</p> <ul style="list-style-type: none"> ものづくり補助金支援事業所 1件 IT導入補助金申請支援 0件 先端設備導入計画申請支援 2件 	<p>A</p> <p>D</p> <p>A</p> <p>D</p> <p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>回数100%(概ね達成)</p> <p>認定1/5</p> <p>目標件数達成</p> <p>あっせん件数0</p> <p>支援効果あり</p> <p>目目標達成 目標件数達成</p> <p>支援効果あり</p> <p>支援効果あり</p>
---	---	--	--	---

<p>指針③ 地域の経済動向調査、需要動向調査 (経済動向調査)</p> <p>(1) 小規模事業者の経営課題の解決及び需要開拓等に資する事業計画策定に活用することを目的として、巡回による売上等業況に関する情報収集に加え、新たに地区内の景況調査を実施する。</p> <p>(2) 地域経済の活性化と小規模事業者の持続的発展を図ることを目的として、行政、金融機関等の統計資料及び各種レポートによる経済動向に関する情報収集を実施する。また、分析結果を踏まえ市・観光協会・商工会等で情報交換を年2回開催する。</p> <p>(需要動向調査)</p> <p>(1) 地域内商業、サービス業個々の需要動向、商店街の需要動向に関して、商工会が実施している5%プレミアム商品券事業を通して、地域の景況、消費者動向、大型店利用状況、小規模事業者及び地域の課題などの情報を収集するとともに、専門家による分析結果を需要開拓や経営課題の解決のために活用する。</p> <p>(2) 観光に関しては、市等との連携により宿泊業から毎年利用状況を調査、分析する。 調査結果は市及び観光協会等と共有するとともに、需要開拓、課題解決に向けて活用する。また、分析結果をふまえた戦略提言を行うため、市・観光協会・商工会等で「戦略会議」を開催する。</p> <p>(3) 飲食業等に関しては、グルメスタンプラリー事業を継続実施して人気メニューの動向を分析、課題等を抽出し、観光・飲食業の需要開拓支援に活用する。また、分析結果を活かし、新商品・新サービス開発の方向を提案するものとし、各店のメニュー開発等を支援するとともに、さらに参加店を増やし毎年1回グルメスタンプラリーを実施する。</p> <p>(4) 製造業については、商談会や物産展、バイヤー、専門家による助言・情報等小規模事業者個々の商品の需要動向について収集、分析した内容についての情報を提供する。また、国内の経済動向、需要動向の情報提供と個別指導を目的に年2回バイヤー及び専門家を招聘し、新たな商品開発並びに需要開拓に資する支援を行う。</p> <p>(具体的目標)</p> <p>①地域内景況調査・分析 調査対象 50 事業者 年 2 回以上 ②消費動向及び観光に関する調査・分析 年 1 回以上 ③専門家による分析結果の情報提供及び活用 年 2 回以上</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内小規模事業者景況調査結果の情報提供(県連会報の配布 年4回) ・ 専門家等による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 2件 バイヤー分析資料 2件 商談会アンケート 3件 その他(東京リサーチ) 1件 ・ 八幡平市観光振興審議会(10月10日) ・ グルメスタンプラリーアンケート調査実施 51店舗 参加者延473人(実施期間8月1日～1月31日) ・ 貝印営業担当(カイハウスビジネスフェア)による現地調査・指導(伴走型小規模事業者支援推進事業 支援企業17社が対象) <p>○目標に対する実績</p> <p>①地域内景況調査・分析 ・ 県内小規模事業者景況調査結果の情報提供(県連会報の配</p>	<p>(実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内小規模事業者景況調査結果の情報提供(県連会報の配布 年4回) ・ 専門家等による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 20件 バイヤー分析資料 11件 商談会アンケート1件 その他(東京リサーチ) 1件 ・ 八幡平市観光振興審議会(12月18日) ・ 八幡平DMO事業報告会8月26日 1人参加 ・ グルメスタンプラリーアンケート調査実施 食事4店舗 温泉15店舗 参加者延392人(実施期間8月1日～1月31日) ・ 貝印営業担当(カイハウスビジネスフェア)による現地調査・指導 (伴走型小規模事業者支援推進事業 支援企業13社が対象) <p>○目標に対する実績</p> <p>①地域内景況調査・分析 ・ 県内小規模事業者景況調査結果の情報提供(県連会報の配布 年4回)</p>	<p>県内景況調査結果の配布 市内商工業の景況調査は未実施</p> <p>C</p> <p>県内景況調査結果の配布 市内商工業の景</p>
---	---	--	---

	<p>④観光戦略会議 年2回</p> <p>指針④ 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること (事業内容)</p> <p>(1) 地場産品、工芸品など製造している小規模事業者を対象に、県や商工会連合会などが実施している商談会、県・市連携による展示会等に積極的に出展して小規模事業者の販路開拓を支援する。また、催事及び商品に対するアンケート、バイヤー等専門家による需要動向に関する分析結果を小規模事業者の需要開拓に活用する。</p> <p>(2) 地域食材活用の食品製造業などの小規模事業者を対象に、取引実績があり継続して参加している首都圏の高島屋や京王百貨店の催事、アンテナショップを活用して八幡平市の地域資源を活用した特産品の販路開拓と認知度の向上を図る。 また、催事やアンテナショップでのアンケートやバイヤー等専門家による需要動向に関する分析結果を需要開拓に活用する。</p> <p>(3) 新たな需要開拓を目指し新商品開発や販路拡大を検討している小規模事業者を対象に取引実績ある有名百貨店のバイヤーを招聘し、セミナー及び個別指導を実施するとともに、金融機関等が主催する ビジネスマッチングフェアなどの情報提供を行い需要動向に沿った商品開発及び販路開拓を支援する。</p> <p>(4) 全国への情報発信並びに新たな需要の開拓に寄与するため</p>	<p>布 年4回)</p> <p>②消費動向及び観光に関する調査・分析 ・グルメスタンプラリーアンケート調査 1回</p> <p>③専門家による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 2件 バイヤー分析資料2件 商談会アンケート3件 その他(東京リサーチ) 1件</p> <p>・カイハウス現地指導(専門家による支援) 17社</p> <p>④八幡平市DMO事業への参加協力</p> <p>(実施内容) 八幡平市商工会主催 ◎販路開拓セミナー (12月7日八幡平市25名) ◎ファームエイド銀座への出展 (6月30日～7月1日 4社) (支援先 わんだい高原農場、八幡平地熱活用プロジェクト、羽沢製菓、地熱染色研究所) ◎食の交流会(11月25日 15社) (支援先 安比まいたけ、安比塗漆器工房、麴屋もとみや、清水川養鱒場、ふうせつ花、ワイルドグレープファーム、わしの尾、わんだい高原農場、遠藤鶏卵、平岡クラフト工房、ノースライン40、ノレグレット、八幡平地熱活用プロジェクト、地熱</p>	<p>②消費動向及び観光に関する調査・分析 ・グルメスタンプラリーアンケート調査 1回</p> <p>③専門家による分析結果の情報提供及び活用 専門家分析資料 20件 バイヤー分析資料11件 商談会アンケート1件 その他(東京リサーチ)1件 ・カイハウス現地指導(専門家による支援)13社</p> <p>④八幡平市DMO事業への協力(情報提供)</p> <p>(実施内容) 八幡平市商工会主催 ◎伴走型支援推進事業 カイハウスビジネスフェア (11月8日 貝印本社 13社) (支援先 麴屋もとみや、わんだい高原農場、羽沢製菓、安比まいたけ、ノレグレット、八幡平地熱活用P、わしの尾、ふうせつ花、ノースライン40°+8、平岡クラフト工房、安比塗漆器工房、ワイルドグレープファーム、あつび里山学校) 八幡平フェア (11月9日 銀河プラザ 1社) (支援先 わんだい高原農場)</p> <p>◎伴走型支援推進事業 料理教室とのタイアップPR事業 10月8日 羽沢製菓 10月10日 麴屋もとみや</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>	<p>況調査は未実施</p> <p>目標達成</p> <p>目標達成</p> <p>支援効果あり</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業 (新たな需要の開拓に資する事業)</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業 (新たな需要の開拓に資する事業)</p>
--	--	--	--	----------------------------	--

<p>に、全国商工会連合会が主催する「観光マッチングフェア」等に参加する。</p> <p>マッチングフェアにおいては全国の旅行会社や観光メディア向けに、商工会が作成する「観光体験プログラム」の認知度向上を図るとともに、ブランド化と滞在型観光を推進することによる小規模事業者の新事業展開・高付加価値化を支援する。</p> <p>(5) マスメディア、ITを活用した取組として、四季折々の地域の選りすぐり情報と頑張っている小規模事業者の情報を商工会ホームページ、フェイスブック「ハチクラ」、フリーマガジン「ハチクラ」(H26年から年5回発行)を通じて、地域の認知度向上と小規模事業者の販路開拓を支援する。</p> <p>(具体的目標)</p> <p>① 展示会・商談会開催回数 年2回</p> <p>② バイヤーによる個別指導等回数 年2回</p> <p>③ 広報紙・HPの充実 年6回以上</p> <p>④ IT・マスメディアの活用 年5回以上</p>	<p>染色研究所、Tamari 窯)</p> <p>◎ カイハウスビジネスフェア (2月7日 貝印本社 5社) (支援先 わんだい高原農場、平岡クラフト工房、八幡平地熱活用プロジェクト、安比塗漆器工房、Tamari 窯)</p> <p>都市圏販路開拓支援事業</p> <p>国内外の見本市等に出展する会員である中小企業に対し、販路開拓の支援をする。 支援企業 延べ14社</p> <p>・横浜高島屋、京王百貨店バイヤーからの情報提供</p> <p>・フリーマガジン「ハチクラ」18号～21号発行</p> <p>県内主要観施設、一部東京の商談会等 各号25,000部配布</p> <p>・Facebook版ハチクラWEBの制作(情報発信機能と需要開拓機能の強化) 支援件数 17事業所</p> <p>目標に対する実績</p> <p>① 商工会主催商談会開催</p> <p>・ファームエイド銀座 支援事業者4社</p> <p>・食の交流会 支援事業者15社</p> <p>・カイハウスビジネスフェア支援事業者5社</p> <p>○ 都市圏販路開拓支援 延べ14事業者、催事数9件</p> <p>② 新商品開発に係る支援</p> <p>・横浜高島屋、京王百貨店バイヤー等からの情報提供 計2回</p> <p>③ フリーマガジン「ハチクラ」の発行4回</p> <p>会報の発行 5回</p>	<p>10月18日 わしの尾</p> <p>11月14日 ふうせつ花</p> <p>都市圏販路開拓支援事業</p> <p>国内外の見本市等に出展する会員である中小企業に対し、販路開拓の支援をする。</p> <p>支援企業 延べ5社</p> <p>・フリーマガジン「ハチクラ」22号～25号発行 県内主要観施設、一部東京の商談会等 各号25,000部配布</p> <p>◎ 伴走型支援推進事業</p> <p>・Facebook版ハチクラWEBの制作(情報発信機能と需要開拓機能の強化) 支援件数 17事業所</p> <p>目標に対する実績</p> <p>① 商工会主催商談会開催</p> <p>・伴走型支援推進事業</p> <p>カイハウスビジネスフェア 支援事業者13社</p> <p>・都市圏販路開拓支援 延べ5事業者、催事数4件</p> <p>② 伴走型支援推進事業</p> <p>料理教室タイアップレッスン横浜 10月8日</p> <p>料理教室タイアップレッスン練馬 10月10日</p> <p>料理教室タイアップレッスン新宿 10月18日</p> <p>料理教室タイアップレッスン横浜 11月14日</p> <p>③ フリーマガジン「ハチクラ」の発行 4回</p> <p>・会報の発行 5回</p>	<p>八幡平市補助金による支援</p> <p>八幡平市補助金による支援</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業(新たな需要の開拓に資する事業)</p> <p>伴走型小規模事業者支援事業(新たな需要の開拓に資する事業)実施回100% 支援事業所 13事業所</p> <p>概ね達成</p> <p>概ね達成</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>
---	---	--	--	----------------------------

	<p>2. 地域経済の活性化に資する取り組み 目標2. 観光と物産振興に関する戦略立案と実行する仕組み作りの推進（連携の促進）</p> <p>(1) 滞在型観光・ブランド化等による観光振興と中心商店街の振興</p> <p>①観光振興の仕組みづくりの具体化、特産品の販路開拓・ブランド化を推進し、全国に対して地域の魅力を発信していく。</p> <p>②八幡平市の玄関口であるJR大更駅前の周辺開発に伴い、八幡平市の中心商店街のかつての賑わいを戻すべく「大更未来づくり委員会」(H26 地域内資金循環等新事業検討事業)を中心に商店街活性化への取り組みを支援するため、消費動向及び事業者等の意向を調査分析し、商店街活性化事業計画作成、個店指導に活用する。</p> <p>(2) 観光イベントの効果的な開催のための連携の促進 八幡平市発展の方向性が一致している八幡平市、市観光協会、市産業振興(株)、商工会で構成している「輝(ひかり)振興連絡調整会議」が、イベントの目的として掲げる賑わいの創出、交流人口の増加が図られるよう事業の検証と検討を行い、効果的な開催に寄与する。</p> <p>(具体的目標)</p> <table border="0"> <tr> <td>①観光イベント実施回数</td> <td>年 4 回</td> </tr> <tr> <td>②滞在型観光推進委員会開催回数</td> <td>年 10 回</td> </tr> <tr> <td>③商店街活性化推進委員会</td> <td>年 4 回</td> </tr> <tr> <td>④連携団体等連絡調整会議</td> <td>年 6 回</td> </tr> </table>	①観光イベント実施回数	年 4 回	②滞在型観光推進委員会開催回数	年 10 回	③商店街活性化推進委員会	年 4 回	④連携団体等連絡調整会議	年 6 回	<p>④ I Tの活用 Facebook 版ハチクラ WEB の制作 (情報発信機能と需要開拓機能の強化) 支援件数 17 事業所</p> <p>(実施内容)</p> <p>①DMO等主催セミナー ・外国人観光客受入セミナー 1 人 (八幡平市 8 月 30 日) ・インバウンドおもてなしセミナー (2 回延 2 人 八幡平市 9 月 18 日 11 月 21 日)</p> <p>②商店街活性化 (大更商店街未来を創る会) ・ワークショップ 2 回 ・視察研修 1 回 (宮城県仙台市、埼玉県深谷市ほか) ・実験イベント (7-がの休日) 2 回</p> <p>③輝振興連絡調整会議 (3 回開催) (5 月・6 月・9 月)</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①観光イベント実行委員会 4 回 ・観光イベント…八幡平ふるさと花火まつり、IWATE ハチマンタイダイマハ、八幡平山賊まつり、雪フェスタ 2019</p> <p>②滞在型観光推進委員会 市主催 (観光審議会) 1 回 DMO等主催 3 回 ・外国人観光客受入セミナー 1 人 (八幡平市 8 月 30 日) ・インバウンドおもてなしセミナー 1 (八幡平市 9 月 18 日 11 月 21 日)</p>	<p>④ I Tの活用 Facebook 版ハチクラ WEB の制作 (情報発信機能と需要開拓機能の強化) 支援件数 17 事業所</p> <p>(実施内容)</p> <p>①滞在型観光推進委員会 市主催 (観光審議会) 1 回 DMO等主催 3 回 観光イベント実行委員会 4 回 観光イベント…八幡平ふるさと花火まつり、雪フェスタ 2020</p> <p>②大更商店街未来を創る会 1 回 ・今後の活動方針を協議 ・市に対する説明</p> <p>③連携団体等連絡調整会議 輝振興連絡調整会議 2 回 (5 月、12 月)</p> <p>○目標に対する実績</p> <p>①観光イベント実行委員会 4 回 ・観光イベント…八幡平ふるさと花火まつり、雪フェスタ 2020</p> <p>②滞在型観光推進委員会 市主催 (観光審議会) 1 回 DMO等主催 3 回</p> <p>③大更商店街未来を創る会 1 回</p>	<p>A</p> <p>A</p> <p>C</p> <p>C</p>	<p>実施回数 100% 業者の商品をクローズアップし、ウェブを活用した通販と連動、需要開拓を支援</p> <p>概ね達成</p> <p>回数未達 支援効果あり 八幡平DMOに関する情報提供 (協力)</p> <p>事業提案後活動終了</p>
①観光イベント実施回数	年 4 回												
②滞在型観光推進委員会開催回数	年 10 回												
③商店街活性化推進委員会	年 4 回												
④連携団体等連絡調整会議	年 6 回												

	<p>3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組</p> <p>(1) 他の機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること 「経営指導員等研修」や「経営支援事例発表会」に経営指導員等が積極的に参加し、支援ノウハウ、支援の現状、支援課題についての情報交換を行うことにより、八幡平市商工会の支援力向上に結び付ける。 また、地域課題の解決及び新たな需要の開拓を目指すことを念頭に、金融機関や行政、岩手県立大学等との情報交換会を、本計画では年1回、本会が主催して行うこととして小規模事業者の需要動向や支援課題等について情報交換を行い、創業支援や新たな需要の開拓のための地域ぐるみの支援体制構築や伴走型支援の強化を図り、小規模事業者の持続的発展に寄与する。</p> <p>(2) 経営指導員等の資質向上等に関すること 経営指導員をはじめとする経営支援スタッフ（経営指導員、経営支援員）6人が、簡易商業診断など業種別・課題別の専門研修会に年間1回以上参加することで、売上げや利益を確保することや経営課題解決を重視した支援能力の向上を図る。 また、経営支援事例研究会等で習得した支援事例について経営指導員と経営支援スタッフによる「勉強会」を2時間開催し、組織内で経営支援のノウハウを共有する。 経営計画策定に係る相談、事業実施支援時のフォローアップ方法について、経営指導員及びプロジェクトマネージャーを中心に指導・助言内容、情報収集手段を学ぶ機会を組織内でつくり、OJTの強化を図り伴走型の支援能力の向上を図る。</p>	<p>③大更商店街未来を創る会 2回 ④連携団体等連絡調整会議 輝振興連絡調整会議 3回</p> <p>(実施内容) ・創業支援者向け講習会 2人（盛岡市 7月4日） ・伴走型支援人材育成研修「生産性向上支援コース」 3人（県連会館 7月5日～6日） ・伴走型支援人材育成研修「事業承継支援基礎コース」 3人（県連会館 7月13日） ・企業支援担当者向け事業承継支援セミナー 2人（盛岡市 11月11日） ・いわてビジネスイノベーションアワード 3人（盛岡 2月12日） （県内支援機関による支援事例発表）</p> <p>(実施内容) ・小規模事業者支援人材育成研修（個者支援型）1人（盛岡 12月13日～14日） ・商工会職員資質向上研修会（上期） 1名（東京 7月10日～11日） ・商工会職員資質向上研修会（下期） 1名（福岡 12月10日～11日） ・中小企業庁シンポジウム 2人（東京都 2月18日） ・認定支援機関研修会 1人（盛岡市 3月20日）</p>	<p>④連携団体等連絡調整会議 輝振興連絡調整会議 2回</p> <p>(実施内容) ・生産性向上セミナー 1人（滝沢市 4月23日） ・伴走型支援人材育成研修「生産性向上支援コース」 2人（八幡平市内 10月29日） ・伴走型支援人材育成研修「事業承継支援基礎コース」 3人（県連会館 11月11日） ・創業支援担当者向け講習会 1人（盛岡市 12月4日） ・いわてビジネスイノベーションアワード 4人（盛岡 2月5日） （県内支援機関による支援事例発表）</p> <p>(実施内容) ・法定経営指導員講習会 1人（盛岡市 9月26日～27日） ・中小企業再生支援セミナー2人（東京都 2月14日）</p> <p>○目標に対する実績 ①ビジネスアワードへの参加</p>	<p>C</p> <p>A</p>	<p>回数未達</p> <p>概ね達成</p>
--	---	---	---	-------------------	-------------------------

	<p>(3) 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>①税理士・中小企業診断士等の第三者、有識者で構成するメンバーにより、前年度の事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う。</p> <p>②常設委員会（事業企画委員会）において、評価・見直しの方針を決定する。</p> <p>③評価・見直しの結果については、理事会へ報告し、承認を受ける。</p> <p>④評価・見直しの結果を八幡平市商工会のホームページ (http://www.shokokai.com/hachimantai/) で計画期間中公表する。</p> <p>⑤事業単位（セミナー、研修会、計画策定支援、計画実施支援、需要開拓に向けた展示会、商談会等支援）で対象企業からの「満足度調査」（アンケート）を実施し、効果、感想、要望、満足度等を把握し、商工会の事業単位でPDCAサイクルを回して事業の見直しに役立てる。</p>	<p>○目標に対する実績</p> <p>①ビジネスアワードへの参加 3人（1回）</p> <p>②全国連主催商工会職員資質向上研修会 延べ2人（2回）</p> <p>③県連主催研修会への参加 延べ13人（6回）</p> <p>④中小機構等研修への参加 延べ7人（4回）</p> <p>（実施内容）</p> <p>①事業評価委員会の開催</p> <p>②事業評価結果の公表</p>	<p>4人（回）</p> <p>②県連主催研修会への参加 延べ13人（6回）</p> <p>③中小機構等研修への参加 延べ3人（2回）</p> <p>（実施内容）</p> <p>①事業評価委員会の開催</p> <p>②事業評価結果の公表</p>	<p>A</p>	<p>他の支援機関との積極的な交流実施（全国・県内商工会等）</p> <p>職員の資質向上のための研修会に積極的に参加 効果あり</p>
--	--	---	--	----------	--